

令和6年度 建昌保育園職員による評価(後期)

令和7年1月20日

評価状況欄の数字(4→そう思う 3→だいたいそう思う 2→あまりそう思わない 1→そう思わない)

平均評価欄内の()は昨年度末の評価を示す。

No.	評価項目	評価状況				平均評価
		4	3	2	1	
1	園は、理念や目標、活動の内容について定着・確認したり情報提供に努めている。	4	3	2	1	3.70
		70%	30%	0%	0%	(3.60) ↑
2	園は、園だより・ホームページ等を通じ、園の活動内容を伝えている。	4	3	2	1	3.78
		78%	22%	0%	0%	(3.84) ↓
3	保育士は、保護者の困りごと、疑問や質問に対して対応に努めている。	4	3	2	1	3.74
		74%	26%	0%	0%	(3.68) ↑
4	保育士は、子どもの人権に配慮した保育に努めている。	4	3	2	1	3.52
		52%	48%	0%	0%	(3.48) ↑
5	保育士は、一人ひとりの子どもの発達状況を理解し、適切な援助に努めている。	4	3	2	1	3.70
		70%	30%	0%	0%	(3.56) ↑
6	保育士は、子どもが基本的な生活習慣(身支度・あいさつ等)が身に付くように努めている。	4	3	2	1	3.70
		74%	22%	4%	0%	(3.80) ↓
7	保育士は、友だちと仲良く遊び、楽しく活動ができるよう援助、環境設定を行っている。	4	3	2	1	3.91
		91%	9%	0%	0%	(3.76) ↑
8	保育士は、保護者が相談しやすい施設や体制づくりに心掛けている。	4	3	2	1	3.52
		52%	48%	0%	0%	(3.48) ↑
9	保育士は、園内外の環境設定(環境美化・衛生・安全対策等)を適切に行っている。	4	3	2	1	3.52
		52%	48%	0%	0%	(3.52)
10	保育士は、子どもが、園のいろいろな行事や活動を楽しむように努めている。	4	3	2	1	3.83
		83%	17%	0%	0%	(3.84) ↓
11	子どもは、園での給食を楽しみにしている。	4	3	2	1	3.61
		61%	39%	0%	0%	(3.60) ↑

○考察

平均評価3.68を上回る評価項目が7, 下回る項目が4あった。特に7番の遊び・活動の援助についての評価が高い。異年齢交流を実施し主体的遊びの環境設定に取り組んでいる結果と考える。また、10番の園活動が楽しくできるように努めているが高い。目指す子ども像の達成に職員が努力していることの表れと考える。

◎成果

評価の高くなった項目が7項目ある。注目すべきは4番の人権に配慮した保育がアンケートをする毎に僅かずつではあるが高くなっている。職員の実践事項にある「人権感覚」「一視同仁」といったことに職員の意識が向いている成果と考える。しかし、3項目が平均評価を下回っているため、更なる努力をしていきたい。

△課題

9番の園内外の環境設定が、今回は評価の低い3項目の一つとなった。築15年が経過し、修繕や環境改善をすべき箇所が出てきている。現場を知る職員からの情報を聞きながら対応していきたい。そして美しく、衛生的で安全な環境を整えていきたい。